

健康のひろば

—40—

地元の医師がアドバイス

半年前からせき

が止まらず、発熱

するなど体調が悪

いため近くで診察

を受けたところ喘

息でないか、専門

医に診てもらおう

うに言われまし

た。通院治療で治

るものですか。

(下川・農業・六

十二歳)

—☆—

咳嗽は本来、生体

防御機能として必要

ですが、何らかの原因

因で長引いてしまっ

のが咳であります。

経過から急性のも

のと慢性のものに

分類され、そして大

きく二つの種類があ

ります。一つは「乾

性咳嗽(かんせい)が

いそう。痰はほとん

ど無く、いわゆる空

咳)で、もう一つが

「湿性咳嗽(痰を伴

う咳)です。

ご質問のような半

年以上持続する咳

嗽、つまり八週間以

上継続する咳は慢性

咳嗽と定義されてい

ます。三週間以上咳

が続く場合、何らか

の病気が潜んでいる

可能性があり、呼吸

器科を受診すべきと

考えられています。

ご質問の場合、

「咳喘息」あるいは

「アトピー咳嗽」と

考えられます。聞き

なれない病名かも知

れません。一九九二

年、金沢大学の藤村

先生が提唱されたア

トピー咳嗽は症状だ

けでは咳喘息となか

なか区別しづらいの

ですが、気管支拡張

剤による反応が異な

ります。

咳喘息ではこの薬

剤で軽快するとされ

ています。問題は咳

喘息の三〇%が数年

以内に本物の気管支

喘息に移行するとき

れています。

そのほか「副鼻腔

気管支症候群(気管

支拡張症・副鼻腔

炎)「慢性気管支炎」

「アレルギー性鼻炎

に伴う慢性咳嗽」な

どが考えられます

が、考慮されなけれ

ばならないのが、「胃

食道逆流症」やAC

E阻害剤やベータ遮

断薬といった高血圧

治療薬の使用状況の

有無です。こうした

薬剤ではその副作用

で咳嗽が持続する場

合があるのです。

こうした遷延化し

た場合、これらの疾

患以外にも、肺結核、

肺がん、食道がん、

気管内異物、間質性

肺炎、後鼻漏、小児

の場合の百日咳など

も鑑別しなければな

りません。通院、外

来での検査、治療は

十分可能です。一刻

も早く専門医に相談

下さい。

(医療法人社団岡崎

内科院長・岡崎望)



せきが止まらず喘息か